

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 地引 俊為
 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,236	△3.0	83	△14.9	67	△19.5	41	△8.4
28年3月期第1四半期	1,273	6.1	97	53.0	83	88.1	45	97.6

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 45百万円 (△42.8%) 28年3月期第1四半期 79百万円 (100.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	4.45	—
28年3月期第1四半期	4.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第1四半期	6,878		3,360		46.6	
28年3月期	7,066		3,372		45.4	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 3,207百万円 28年3月期 3,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	2.5	180	△29.2	140	△37.2	90	△34.5	9.59
通期	6,160	4.2	500	△2.8	430	△4.4	260	△5.7	27.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	10,000,000 株	28年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	619,783 株	28年3月期	619,401 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	9,380,344 株	28年3月期1Q	9,408,110 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用改善はあるものの個人消費は伸び悩み、円高の進行や新興国経済の減速に加えて英国の欧州連合離脱決定による影響も懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2016年度の経営スローガンを前々年度、前年度に引き続き「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」とし、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、前年度に実施した社長室への商品戦略企画担当の配置や商品企画部の設置に続き、社長室に設置されている営業戦略企画担当が立案する営業戦略の実行にあたり、その戦術としての具体的企画や提案を行う「営業企画部」を新設し、組織的な営業活動の強化を進めてまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比3.0%減の12億3千6百万円（前年同期12億7千3百万円）となり、利益面においても、経費管理の徹底効果はあるものの、減収影響に加え、前年同期に発生した退職給付信託資産の運用状況の好転影響が無くなったこともあり、営業利益で同14.9%減の8千3百万円（同9千7百万円）、経常利益で同19.5%減の6千7百万円（同8千3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同8.4%減の4千1百万円（同4千5百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ファスニング部門における工業用ファスナーの売上増がありましたものの、他の品種群・部門においては総じて流通在庫増加影響を受けたことに加え、前年同期において売上が伸長した新企画の工具セットがその一巡により減少という形となりました。

海外売上については前年同期に比べ増加しており、ハンドツール部門では、韓国向けにおいて圧着工具の減少はありましたが、韓国・台湾向けのレンチ・プライヤ類が拡販努力により大幅に増加しました。ファスニング部門では、米州向けのエアリーバッターをはじめとしたファスニングツール類が流通在庫増加影響を受け減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比3.2%減の11億7千4百万円（前年同期12億1千3百万円）となりました。利益面では営業利益が減収影響に加え、前年同期に発生した退職給付信託資産の運用状況の好転影響が無くなったこともあり、前年同期比22.9%減の5千2百万円（同6千8百万円）となりました。

②レジャーその他事業

ゴルフ練習場におけるお客様一人当たり売上高の低下傾向が継続してはおりますものの、入場者数は天候に恵まれ、また、集客施策の効果もあって増加し、売上高は前年同期比2.0%増の6千1百万円（前年同期5千9百万円）となり、営業利益は、同4.3%増の3千万円（同2千8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は68億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千8百万円減少しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比1億6千5百万円減の42億8千6百万円となりました。これは主にたな卸資産が増加する一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同2千3百万円減の25億9千1百万円となりました。これは主に退職給付に係る資産や投資有価証券の増加があったものの、減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1億1千2百万円減の23億5千3百万円となりました。これは主に未払費用の増加があったものの、短期借入金や未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は同6千4百万円減の11億6千4百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比1千2百万円減の3億3千万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加がありましたが、配当支出に伴う利益剰余金の減少及び連結子会社の配当金支出に伴う非支配株主持分の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成28年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,142	1,562,357
受取手形及び売掛金	1,321,705	1,032,356
商品及び製品	886,233	1,090,229
仕掛品	211,260	232,235
原材料及び貯蔵品	171,245	193,160
その他	170,237	181,083
貸倒引当金	△5,548	△4,691
流動資産合計	4,452,277	4,286,731
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	768,075	753,355
土地	738,508	738,508
その他(純額)	564,767	549,541
有形固定資産合計	2,071,351	2,041,405
無形固定資産	36,110	32,889
投資その他の資産	507,106	517,109
固定資産合計	2,614,568	2,591,405
資産合計	7,066,845	6,878,136
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,572	269,774
短期借入金	1,696,702	1,587,528
未払法人税等	92,652	26,230
その他	439,131	470,299
流動負債合計	2,466,057	2,353,831
固定負債		
長期借入金	968,527	909,424
役員退職慰労引当金	3,120	—
退職給付に係る負債	48,078	48,415
その他	208,779	206,281
固定負債合計	1,228,504	1,164,120
負債合計	3,694,562	3,517,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,784,924	1,779,772
自己株式	△154,683	△154,759
株主資本合計	3,081,287	3,076,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,320	131,334
その他の包括利益累計額合計	130,320	131,334
非支配株主持分	160,676	152,790
純資産合計	3,372,283	3,360,184
負債純資産合計	7,066,845	6,878,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,273,909	1,236,008
売上原価	807,860	771,866
売上総利益	466,048	464,141
販売費及び一般管理費	368,552	381,126
営業利益	97,496	83,015
営業外収益		
受取利息	34	31
受取配当金	3,393	4,791
受取家賃	2,368	2,083
その他	2,824	1,605
営業外収益合計	8,620	8,511
営業外費用		
支払利息	9,506	8,801
売上割引	12,294	11,311
その他	1,045	4,403
営業外費用合計	22,845	24,516
経常利益	83,271	67,010
税金等調整前四半期純利益	83,271	67,010
法人税等	35,065	22,772
四半期純利益	48,205	44,238
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,628	2,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,577	41,751

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	48,205	44,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,075	1,142
その他の包括利益合計	31,075	1,142
四半期包括利益	79,281	45,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,072	42,765
非支配株主に係る四半期包括利益	3,209	2,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,213,993	59,915	1,273,909	—	1,273,909	1,273,909
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,213,993	59,915	1,273,909	—	1,273,909	1,273,909
セグメント利益	68,657	28,839	97,496	—	97,496	97,496

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,174,910	61,098	1,236,008	—	1,236,008	1,236,008
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,174,910	61,098	1,239,008	—	1,236,008	1,236,008
セグメント利益	52,931	30,083	83,015	—	83,015	83,015

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。